

### 信用金庫の本部組織のスリム化

2025  
 プランニング

#### ポイント

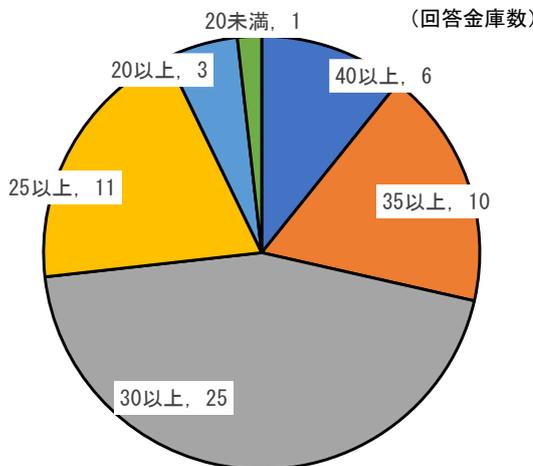
- 2025 年度の経営戦略プランニング研修では「本部組織のスリム化」についてディスカッションが行われた。
- 営業店人員が不足するなか、本部組織の拡大に伴う人員増に一定の歯止めをかけるべく、重複業務の再編成や生産性の低い業務のスクラップが求められている。
- 取組時の検討ポイントは、①目指す本部組織のイメージ共有、②経営陣のリーダーシップ発揮、③本部業務の可視化などである。
- 研修受講金庫の取組事例をみると、IT・DX活用で本部業務のBPRを推し進め、スリム化に取り組む信用金庫があった。

(注) 本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2025 年度&経営層向け）」等の意見交換で得た情報をもとに作成している。

#### 1. 本部組織のスリム化

信用金庫の常勤役職員は 2000 年度末から 2024 年度末にかけて 3 割減少したものの、本部人員は微増傾向にあるとされる。当研修の事前課題を集計すると、2024 年度末の本部人員比率は単純平均で 34.2% となり、なかには 40% を超える信用金庫もあった（図表 1）。この要因には、本部機能の強化や営業店事務の本部集中などがあり、研修受講金庫からは『本部と営業店の役割分担が変わるなか、本部人員比率が上昇していくのは当然である（仕方がない）』との意見も散見された。

(図表 1) 本部人員比率 (2024 年度末・事前課題)



(事前課題の内容)

|      |  |
|------|--|
| 質問項目 | 本部人員数（非正規等を含む）                                   |
| 期 間  | 2025年6月2日～30日（追加開催の提出等を除く）                       |
| 対象金庫 | 経営戦略プランニング研修（2025年度および経営層向け受講金庫）57金庫（欠席を含む）      |
| 備 考  | ・未回答の金庫あり<br>・回答金庫によって定義等が異なる場合がある<br>・分母は常勤役職員数 |

(備考) 図表 1・2ともに信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

## 2. スリム化に向けた活動

意見交換では、本部組織のスリム化に向け業務が重複する部門・グループ・課を再編成する信用金庫、生産性の低い業務や取り扱う商品・サービスを取捨選択する信用金庫などがあった。加えてペーパーレス化などのBPRを積極化させ、業務全般の生産性向上を目指す動きも強まっていた。なお、こうしたスリム化の前提として、本部業務の可視化（マニュアル化）に取り組む研修受講金庫が一部でみられた。

## 3. 取組時の留意点

取組時の検討ポイントは、①目指す本部組織のイメージ共有、②経営陣のリーダーシップ発揮、③本部業務の可視化などである。第一に目指す本部と営業店の役割分担を庫内で議論し共有する必要がある。また、本部組織の再編成や取捨選択をボトムアップで行うのは難しいので、トップダウンによる実施が不可欠と言える。なお、本部業務の可視化については、別途ニュース&トピックスで取り纏めたい。

## 4. 研修受講金庫のコメント

当研究所が主催する「経営戦略プランニング研修（2025年度&経営層向け）」等の意見交換時に聴取した研修受講金庫の主なコメントは**図表2**のとおりである<sup>1</sup>。

（図表2）研修受講金庫のコメント

- この3・4年、本部組織のスリム化が経営課題の一つとなる。ただし当金庫は、企画業務の人員を増やし、定型業務の人員を減らすなどプラマイゼロでのスリム化を志向する。
- 当金庫は本部組織のスリム化に向け、廃止可能な業務を洗い出している。各部門の反対勢力を黙らせるため、他金庫視察を積極化し、自金庫が遅れている業務などを詳らかにする。
- ペーパーレス化を進めることで、資料の綴込みなどの定型的な業務に携わる職員の効率化を図っている。各部から1人減員できる訳でないが、本部全体でみると削減効果が出る。
- 当金庫の本部組織は、複数人の部長に対し部下職員を共通化の方向にある。例えば総合企画・総務・人事の3部長の配下に共通業務を担当する部下職員を置くなど。
- 当金庫は本部組織を戦略的にスリム化するのではなく、定年退職で減った本部人員を補充しない自然減で対応している。人が減れば各部門は創意工夫して無駄を止める。
- 当金庫の特徴は部の下に課がなく、例えば営業推進部は部長1人と部に所属する職員からなる。明確な担当分けがないので、皆が協力する体制と言えるが、部長が企画立案し、部下職員は業務をこなすようになってしまう課題もある。
- 当金庫は本部職員のマルチタスク化を進めることで、スリム化を図った。ただしリスク管理のような専門性を求められる業務はマルチタスクに向かなかった。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断でお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

<sup>1</sup> 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしていません）。

## 経営戦略プランニング研修（2025年度）

関連レポートのご案内

企画

このほかにも、  
信用金庫経営に関する様々な情報を発信していますので、  
当金庫 HP からご覧ください！

当研究所 HP トップ : <https://www.scbri.jp/>

関連レポートは  
こちら



| No.      | 発行日       | タイトル  |
|----------|-----------|---|
| 2024-134 | 2025/1/20 | 信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-22）<br>— 一庫内会議改革への取組み —      |
| 2024-155 | 2025/2/28 | 信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-27）<br>— 規模縮小の容認への考え方 —      |
| 2024-178 | 2025/3/25 | 信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-37）<br>— 営業店適正人員の算出手法 —      |
| 2024-179 | 2025/3/25 | 信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-38）<br>— 少人数店舗運営に向けた工夫等 —    |
| 2024-182 | 2025/3/26 | 信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-39）<br>— 本部組織改革への取組み —       |
| 2024-183 | 2025/3/26 | 信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-40）<br>— 本部組織のマルチタスク化への取組み — |
| 2024-184 | 2025/3/26 | 信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-41）<br>— 本部業務の可視化（定量化）策 —    |
| 2025-7   | 2025/4/14 | 信用金庫の本部機能の移転動向                                      |
| 2025-9   | 2025/4/15 | 信用金庫のATM設置の見直し                                      |
| 2025-147 | 2026/3/9  | 信用金庫の営業店2課体制への取組み                                   |
| 2025-154 | 2026/3/18 | 信用金庫の営業店窓口の短縮営業                                     |
| 2025-157 | 2026/3/23 | 信用金庫の本店・本部の建替え                                      |